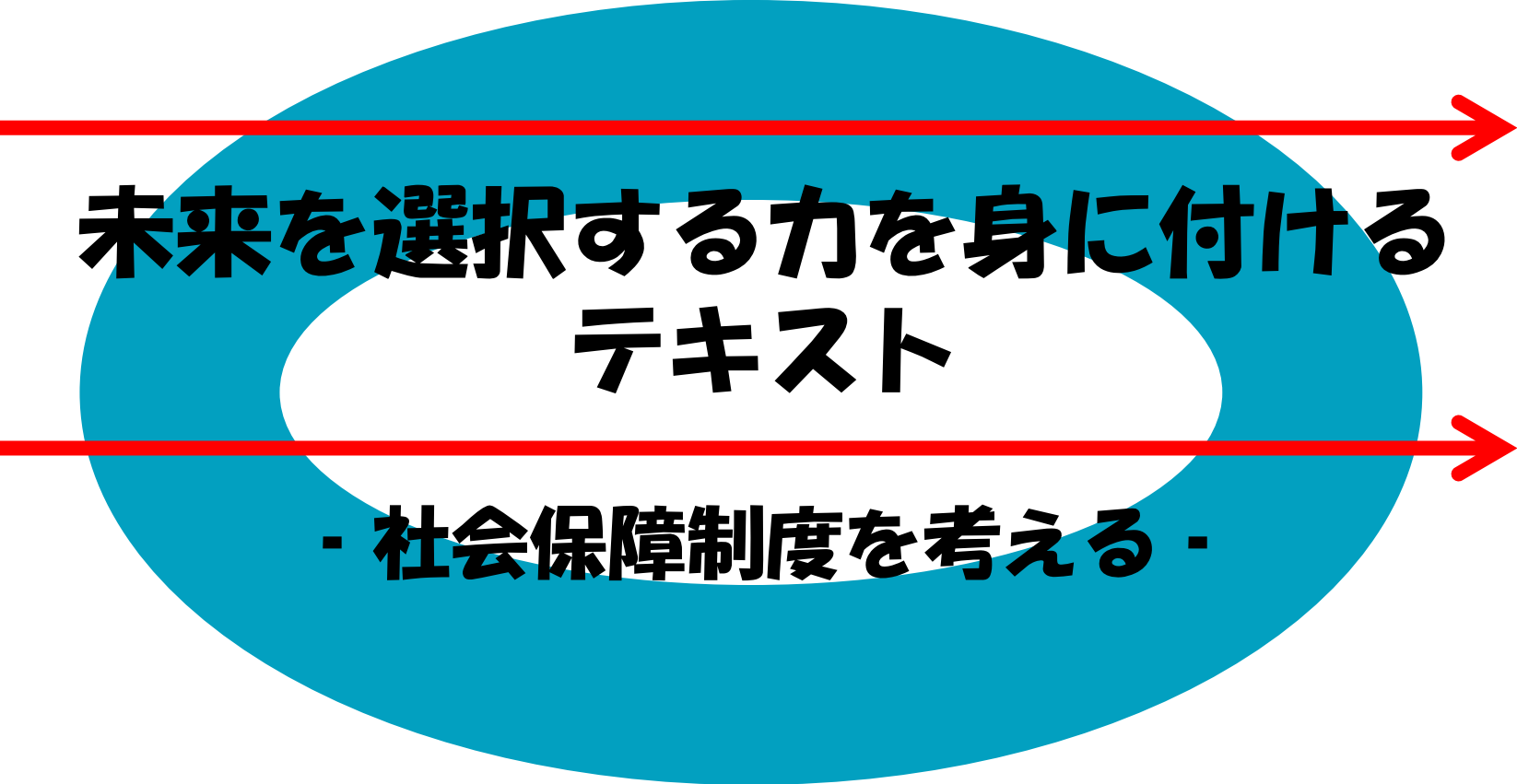




未来を選択する力を身に付ける テキスト

・ 社会保障制度を考える ・

情報を集めよう

下記のキーワードに関連する新聞記事を集めて、自分が重要だと思うところに、線を引いておきましょう。また、政府や自治体がどのような取り組みをしているのかを調べておきましょう。

キーワード

「介護」、「年金」、「医療」、「地域包括ケア」、「CCRC」

みんなで話してみよう

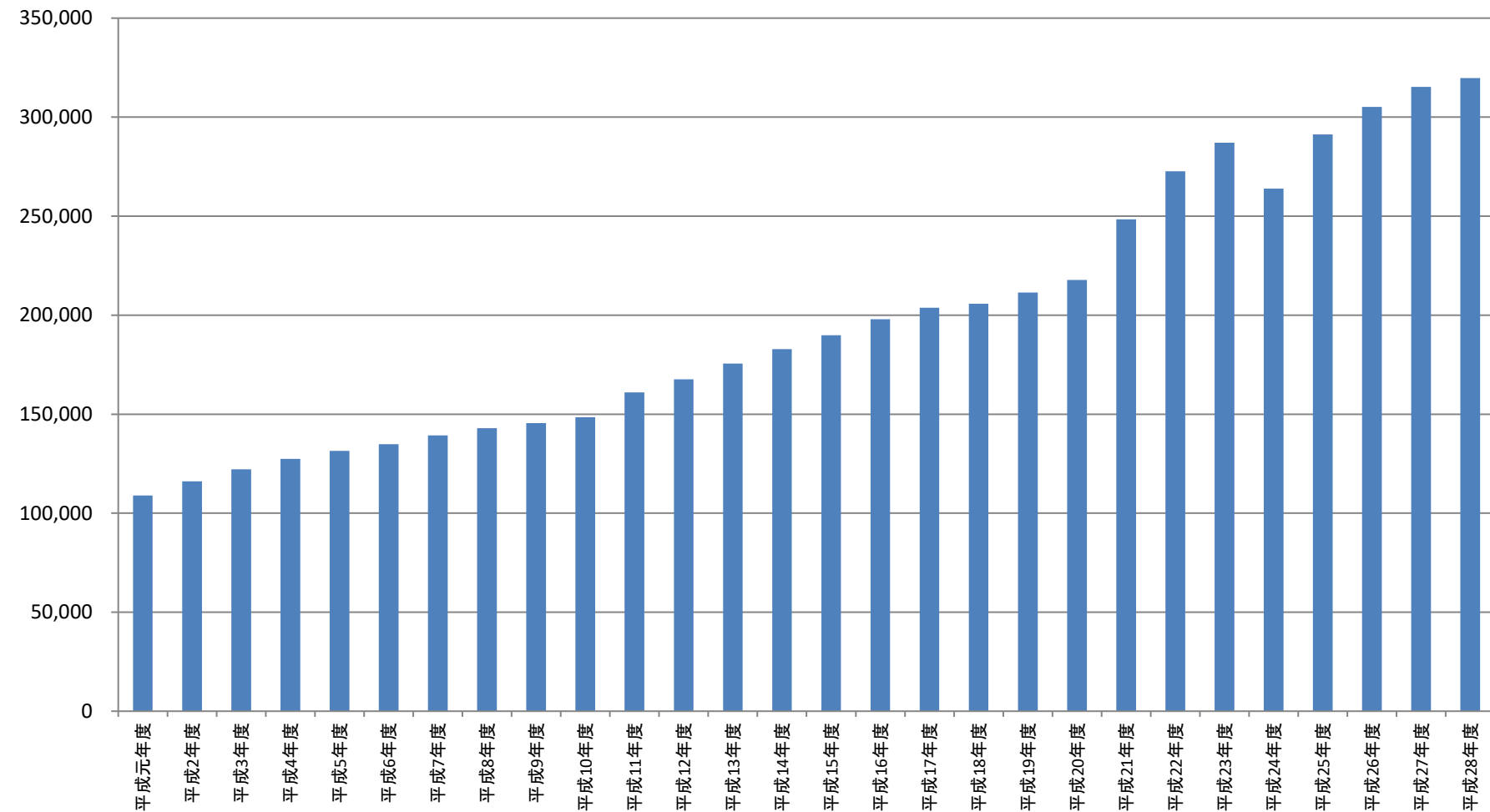
テーマ

将来にどのような不安がありますか？

皆さんが抱えている将来への不安を、なぜ不安なのかという理由とともに説明してください。

社会保障関係費の推移

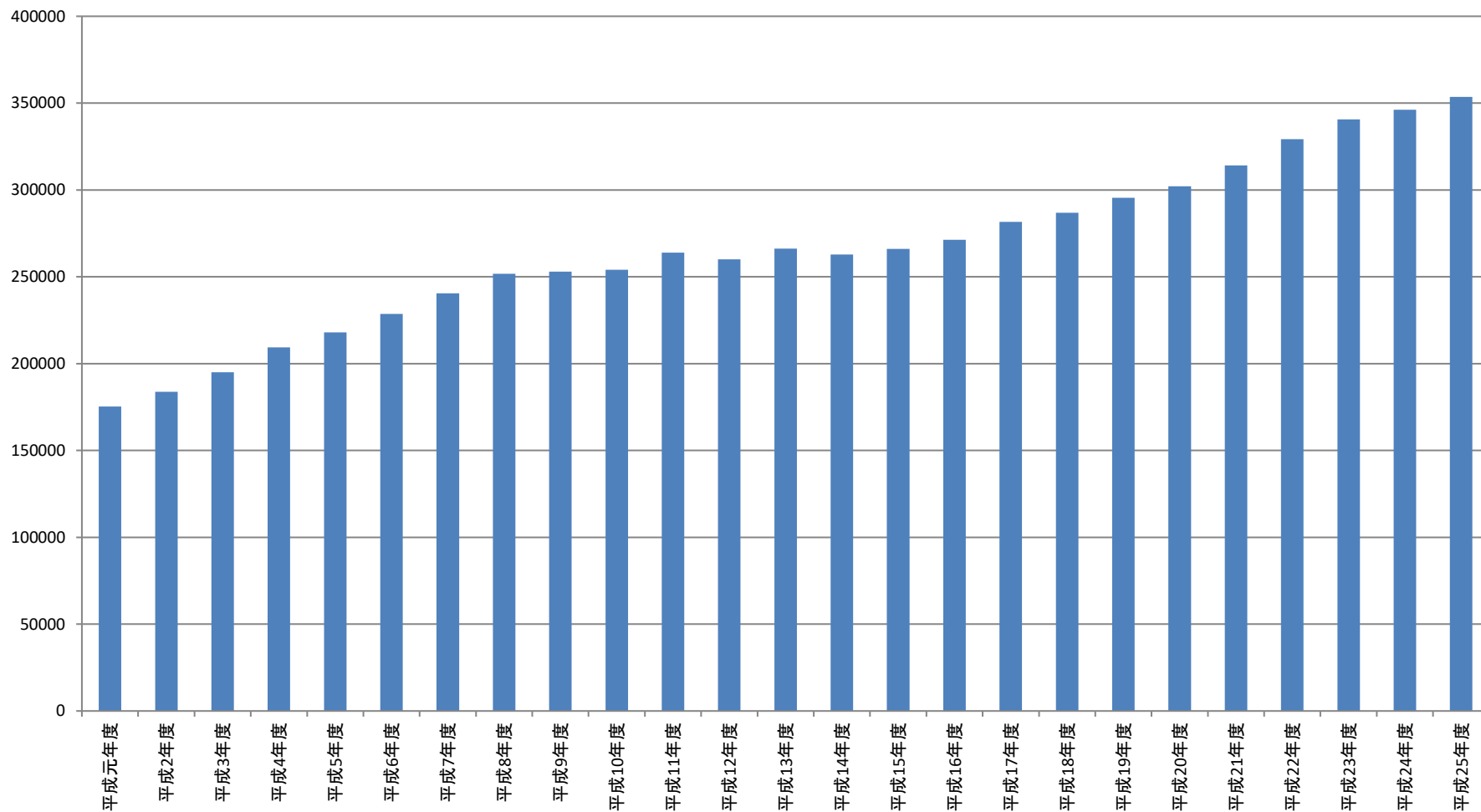
億円



出所：財務省「我が国の財政事情」（平成27年12月）

社会保障給付費（医療）の推移

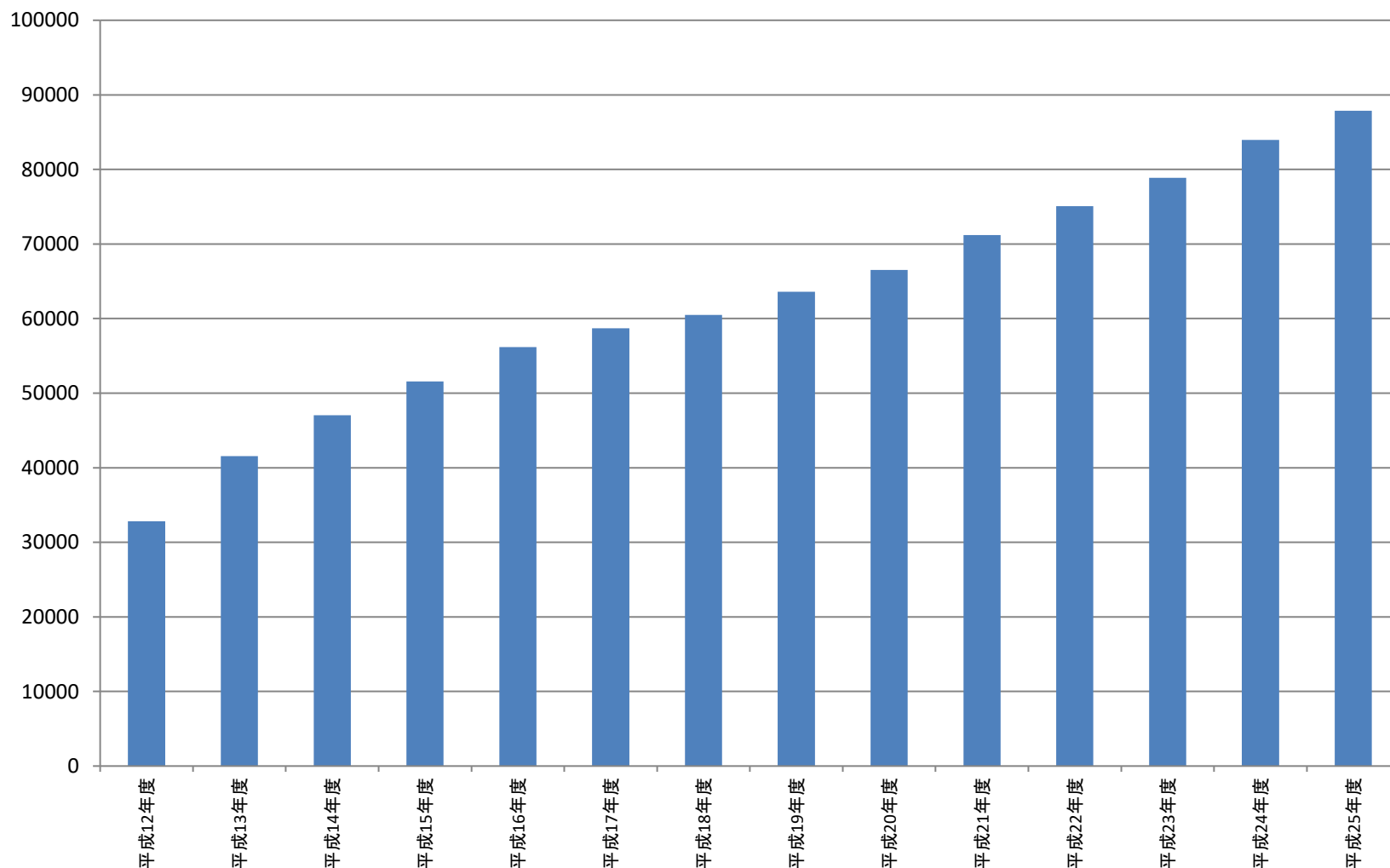
億円



出所：国立社会保障・人口問題研究所『社会保障費用統計』（平成25年度）

社会保障給付費（介護）の推移

億円



出所：国立社会保障・人口問題研究所『社会保障費用統計』（平成25年度）

気が付いたことをメモしよう

このままでは、どうなってしまうだろう？

付箋紙を使って、データを見て思ったこと、感じたことを、なんでもいいから書き出してみましょう。

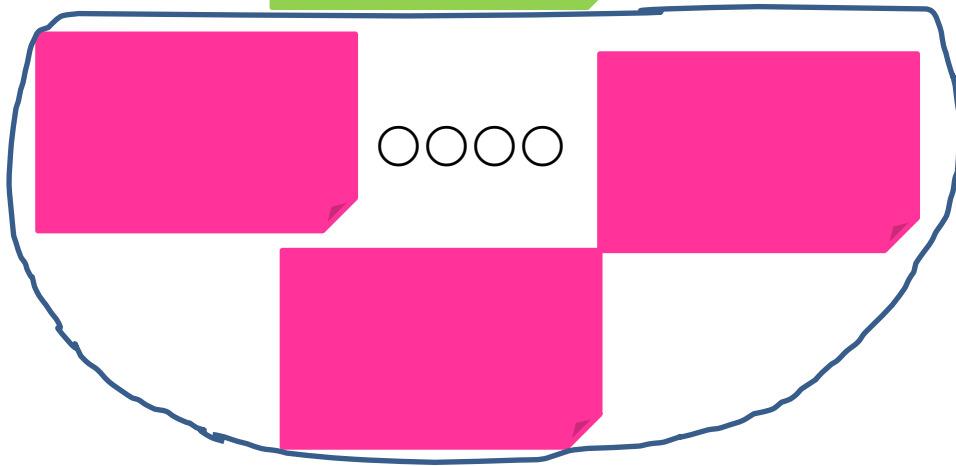
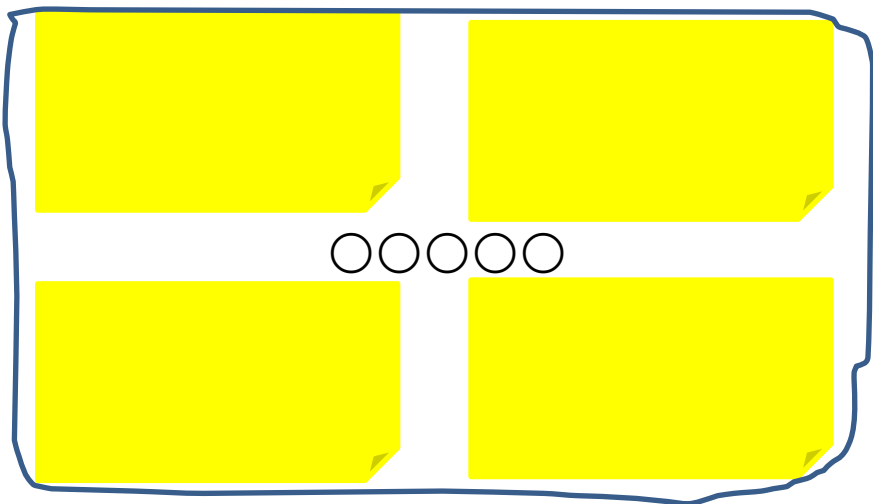
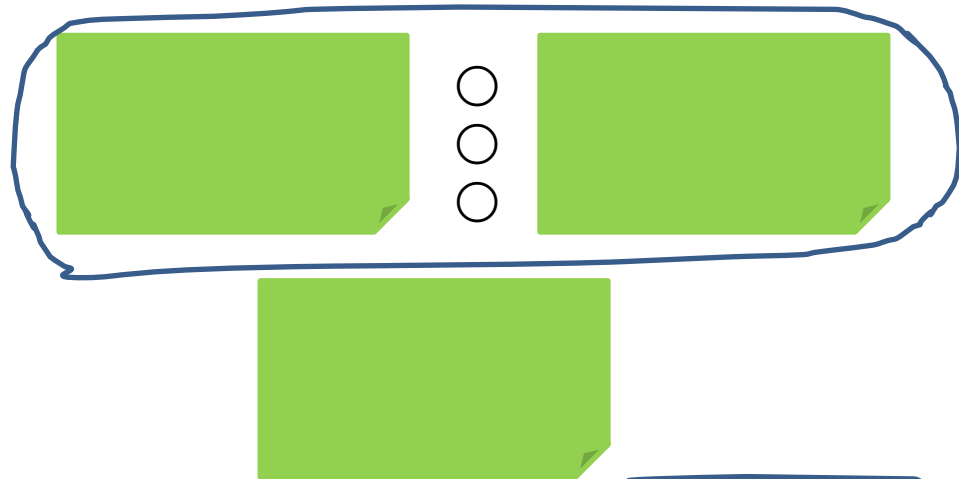
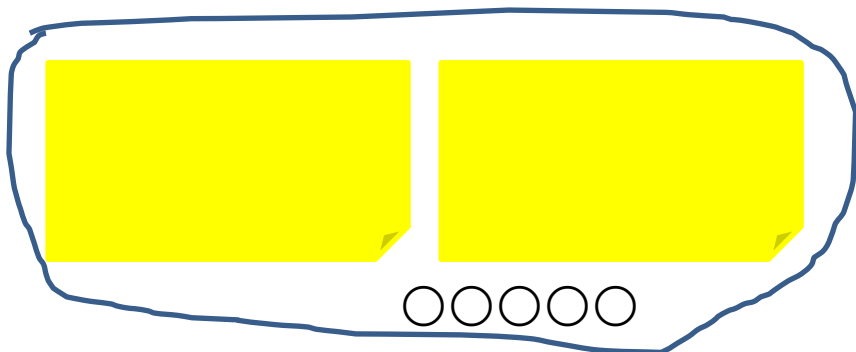
黄色の付箋紙には、「良いと思ったこと」、緑の付箋紙には「問題」と思ったこと、ピンクの付箋紙には、「これからやった方がいい」と思ったことを、一枚にひとつの内容を書いていき、全部で6枚作ってみよう



みんなの意見をまとめてみよう

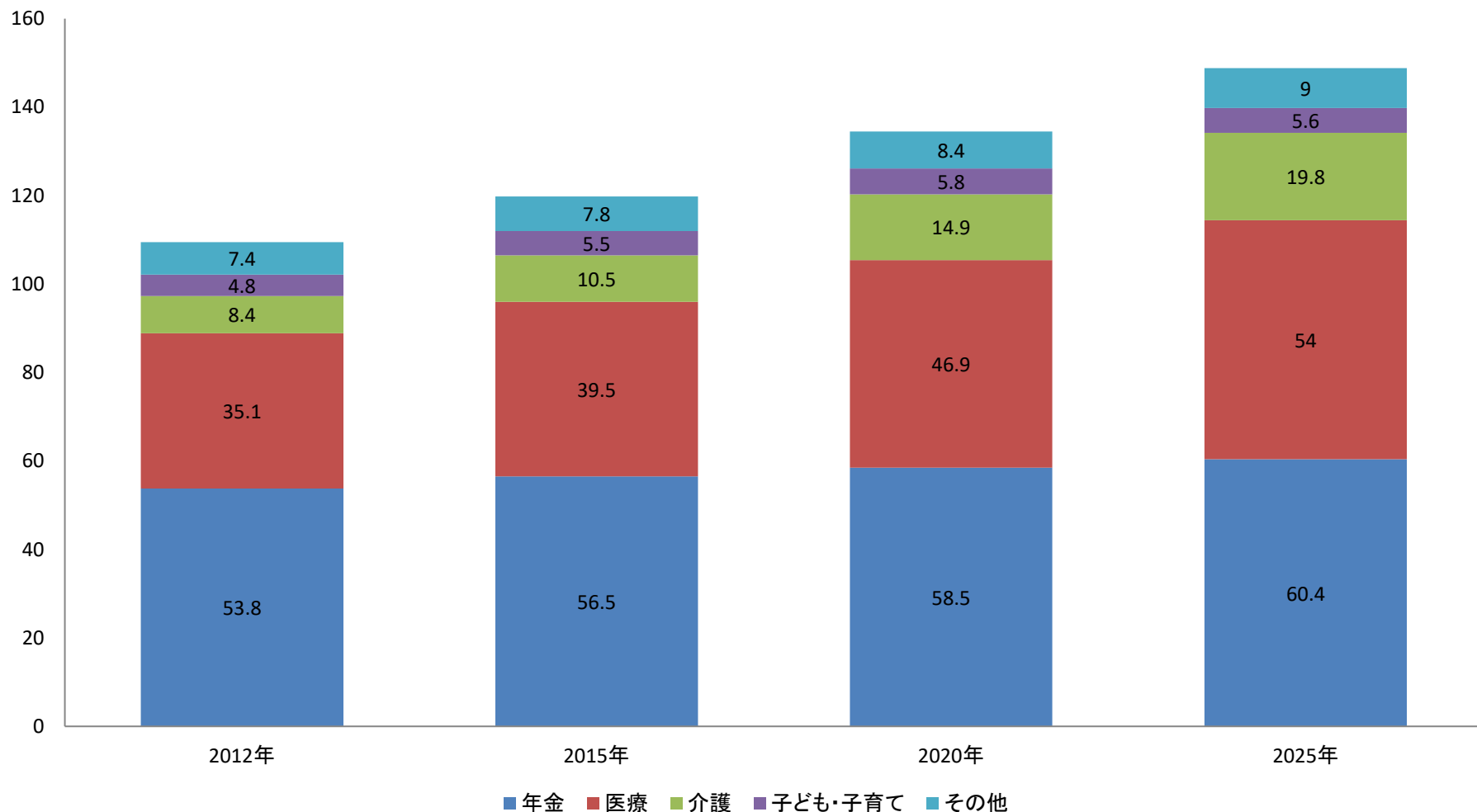
みんなが書きだした付箋紙を集めて、まとめて、発表してみよう。

まず付箋紙を色ごとに集めてみましょう。次に似た者同士を集め、色マジックで似た者同士を線で囲み、それぞれの共通項と思う言葉でタイトルを付けましょう。



社会保障給付費の将来推計

兆円



出所：厚生労働省「社会保障に係る費用の将来推計の改定について（平成24年3月）」

年金の所得代替率

所得代替率の将来見通し(平成26年財政検証)

人口の前提： 中位推計(出生中位、死亡中位)

経済の前提： 高成長(ケースA)から低成長(ケースH)まで様々な仮定

※ 2024年度以降20～30年間の実質経済成長率は、「ケースA: 1.4%程度」～「ケースH: ▲0.4%程度」

所得代替率

高成長ケース

低成長ケース

経済前提	給付水準調整終了後の標準的な厚生年金の所得代替率(一元化モデル)	給付水準調整の終了年度	(参考)従来モデル所得代替率
ケースC	51.0%	(平成55(2043)年度)	52.1%
ケースB	50.9%	(平成55(2043)年度)	52.0%
ケースA	50.9%	(平成56(2044)年度)	51.9%
ケースD	50.8%	(平成55(2043)年度)	51.9%
ケースE	50.6%	(平成55(2043)年度)	51.6%
↑ 労働市場への参加が進むケース (内閣府試算の経済再生ケースに相当)			
↓ 労働市場への参加が進まないケース (内閣府試算の参考ケースに相当)			
ケースF	50.0%	(平成52(2040)年度)	※46.6%
----- (※) 45.7%	(平成62(2050)年度)	[基礎: 22.6%(2050)、比例: 23.0%(2027)]	
ケースG	50.0%	(平成50(2038)年度)	※42.8%
----- (※) 42.0%	(平成70(2058)年度)	[基礎: 20.1%(2058)、比例: 21.9%(2031)]	
ケースH	50.0%	(平成48(2036)年度)	—

注: 機械的に基礎、比例ともに給付水準調整を続けた場合

(※) 機械的に給付水準調整を続けると、国民年金は2055年度に積立金がなくなり完全な賦課方式に移行。その後、保険料と国庫負担で賄うことのできる給付水準は、所得代替率35%～37%程度。

※ 所得代替率50%を下回る場合は、50%で給付水準調整を終了し、給付及び負担の在り方について検討を行うこととされているが、仮に、財政のバランスが取れるまで機械的に給付水準調整を進めた場合の数値。

気が付いたことをメモしよう

これからどうすればいいのだろうか？

付箋紙を使って、データを見て思ったこと、感じたことを、なんでもいいから書き出してみよう。

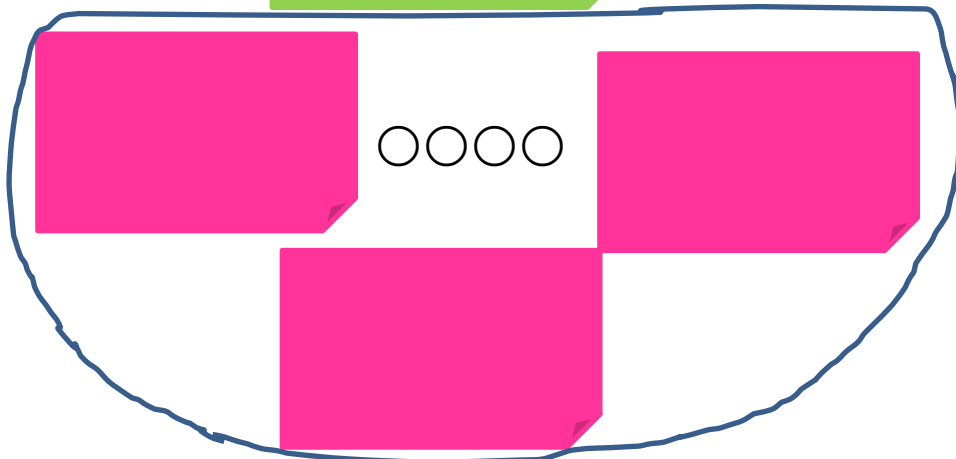
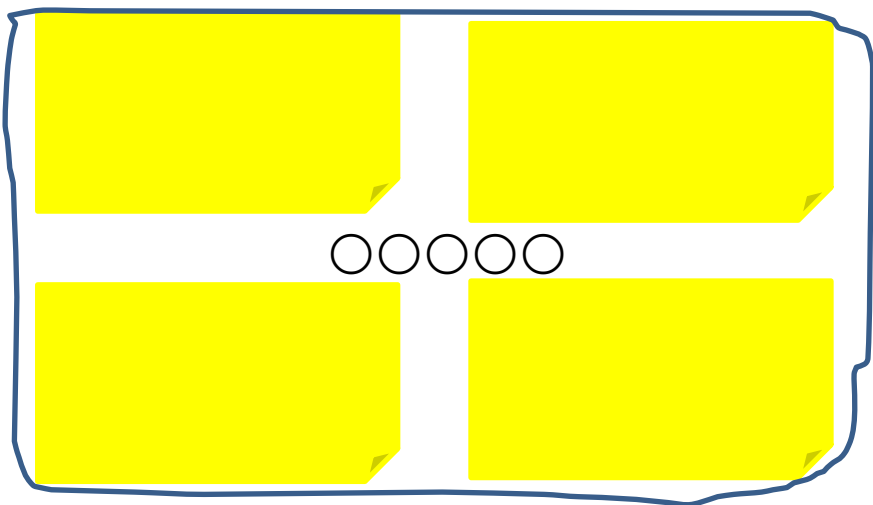
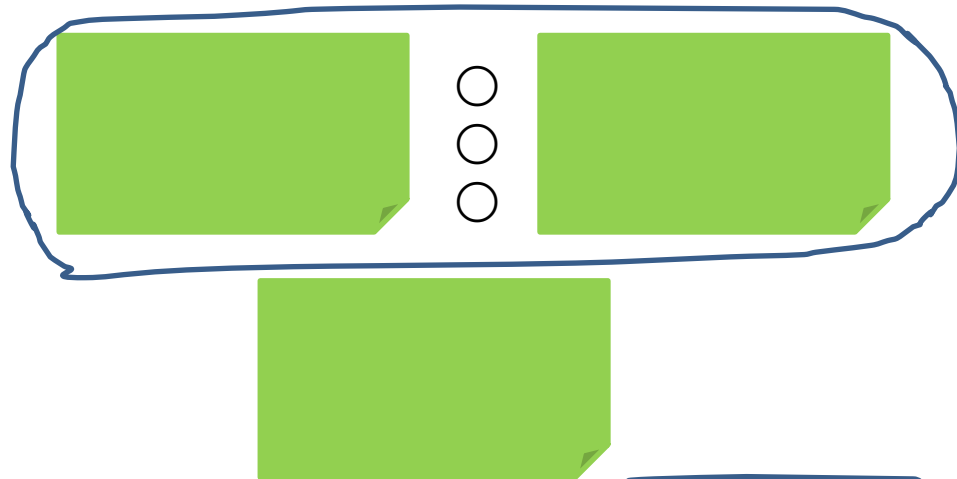
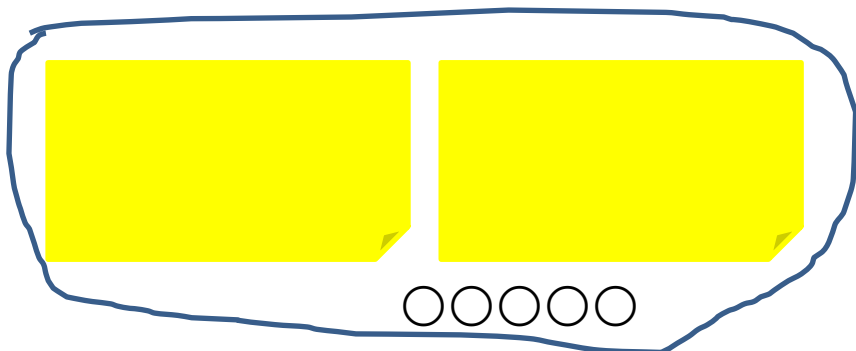
黄色の付箋紙には、「良いと思ったこと」、緑の付箋紙には「問題」と思ったこと、ピンクの付箋紙には、「これからやった方がいい」と思ったことを、一枚にひとつの内容を書いていき、全部で6枚作ってみよう



みんなの意見をまとめてみよう

みんなが書きだした付箋紙を集めて、まとめて、発表してみよう。

まず付箋紙を色ごとに集めてみましょう。次に似た者同士を集め、色マジックで似た者同士を線で囲み、それぞれの共通項と思う言葉でタイトルを付けましょう。



話し合ったことをまとめよう

安心できる社会保障制度を作っていくために、どのような取り組みが必要かを考えていきます。

高齢化率が高くなっていくとどうなる？

労働参加率が高くなっていくとどうなる？

という視点も考えながら、これまで話し合ってきたこと、考えたこと、思ったことを、「現状」、「課題」、「やるべきこと」を、グループでまとめてみましょう。

現状	課題
	やるべきこと

政策を考えよう

安心できる社会保障制度を作るための方法を3つの視点から考えて、それぞれの視点から、課題とどうすればいいかを挙げていきましょう。



政策を考えよう

これまで考えてきた安心できる社会保障制度を作るための方法を、発表できるようにまとめましょう。

政策プラン名を「キャッチフレーズ」的に表現すると・・・

政策プランを「3つの柱」にまとめて、説明しよう